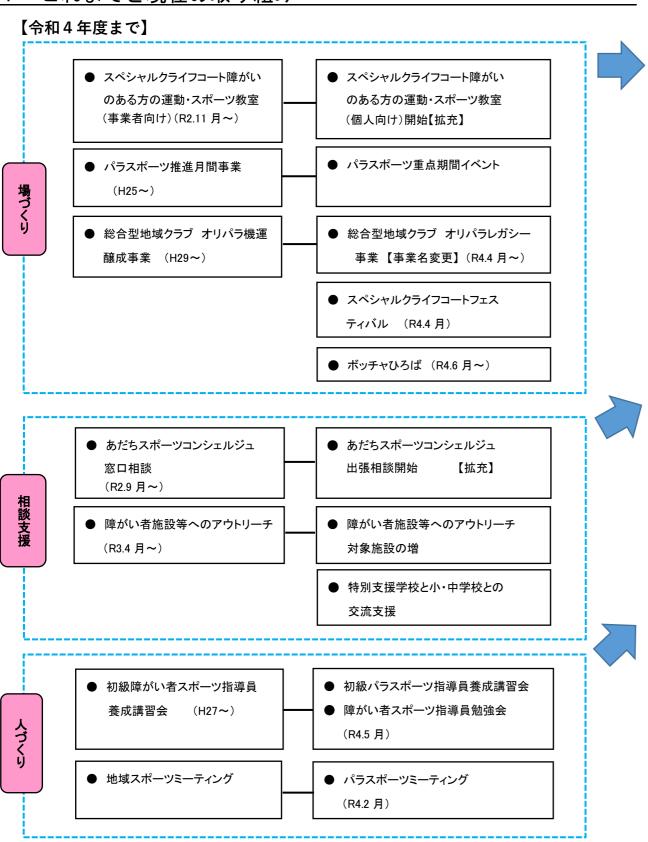
第2章 現状と課題

1 これまでと現在の取り組み



7

【令和5年度】

I パラスポーツの「場」や「機会」の創出

- 障がい者のスポーツ体験・教室・イベント 【拡充】
 - <ボッチャひろば・ライフル教室 年 14 回実施>
 - <スペシャルクライフコート障がいのある方の運動・スポーツ教室(事業者向け)年24回実施>
 - <スペシャルクライフコート障がいのある方の運動・スポーツ教室(個人向け) 年20回実施>
- <スペシャルクライフコートフェスティバル 年 1 回実施>
 障がい者施設等へのアウトリーチ(出前スポーツ体験)
- 受け皿となる民間スポーツ事業所の情報収集 【新規】

Ⅱ パラスポーツの支援制度の充実

- 障がい者スポーツ活動助成制度 【新規】
 - <助成金支給 年約300件対応>
- あだちスポーツコンシェルジュ
 - <窓口相談 年約40件>

Ⅲ スポーツを通じた障がい者理解の推進

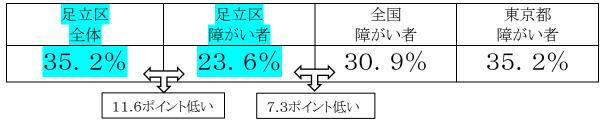
- 学校訪問型パラスポーツ体験事業 【新規】
 - <年 67 回実施>
- 区内特別支援学校と小・中学校との交流支援
 - <施設や物品の貸出・人材の紹介>
- パラスポーツ普及事業
 - <イベントでのPR活動>
 - <パラスポーツ推進月間事業>
 - <総合型地域クラブ オリパラレガシー事業>
- パラスポーツ指導員・ボランティアの育成
 - <初級パラスポーツ指導員養成講習会 年1回実施>
 - <パラスポーツ指導員勉強会 年1回実施>

Ⅳ パラスポーツの推進体制の構築

- パラスポーツアクションプランの策定着手 【新規】
- パラスポーツ推進協議会の立ち上げ 【新規】

2 課題と要因

(1)課題(週1回以上運動・スポーツを行っている方の割合)



障がい者向けのアンケートでは、週1回以上運動・スポーツをしている方の割合が足立区 全体と比較して11.6ポイントも低い。また、全国の障がい者向けのアンケートと比較しても、 足立区の障がい者の運動・スポーツの実施率は7.3ポイント低い。

(2) 要因(現在、運動・スポーツを行っていない理由)

「足立区障がい福祉関連計画のためのアンケート調査(令和5年1月実施)」から抜粋

アンケート内容	割合
運動やスポーツをしたいと思わない・好きではない	22.1%
体を動かすことが得意ではない	18.9%
経済的に余裕がない	14.4%
どのような運動やスポーツがあっているかわからない	14.1%
場所や環境がない	13. 7%
一緒に取り組む仲間がいない	13. 7%
時間的に余裕がない	10.5%
病気や障がいのため	6. 2%
医師から止められている	5. 3%
指導してくれる人がいない	5. 3%
移動や準備・後片付けをサポートしてくれる人がいない	4. 4%
施設の受入体制が整っていない	3. 5%
必要な用品や器具がそろえられない	3. 4%
その他	22.8%

運動・スポーツに関心があっても、何かしらの<u>社会的障壁により</u>実施できていない方が 多い。